

事業所名

コミュニティケアペンギん 児童発達

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

2月

6日

法人（事業所）理念	1、あたなの人権と尊厳を大切にします 1、誰もが支え合う地域の力となれるよう努めます 1、あたたかい社会づくりに努力と研磨を続けます。1、活力と透明性のある経営を目指します。								
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児や保護者の意向、困りごとを聴きながら、将来を見据え成長や維持できるように、利用児のその日の状態に合わせた看護、ハビリテーション、発達支援をチームで行い利用児の成長や発達をサポートしていきます。 ・専門職を配置し、保護者が安心して子育てやきょうだい児の相談が受けられる環境を作ります。 ・安全な活動提供ができるように利用児、保護者への事前説明や、事業所での訓練を安全計画書に基づいて実施します。 ・園への移行支援や就学に向けてのサポートなど専門職員が情報提供をします。 ・利用児が地域の中で安心して暮らしていけるように、関係機関と連携を図り地域全体でサポートしていきます。 								
営業時間	8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児が安心安全に過ごせるように保護者や関係機関と健康状態を共有します。また、ご家庭に近い形での身体的・医療的ケアを行えるように保護者と密にケアの方法を確認します。 ・基本的な生活習慣や生活リズムを身につけていけるよう、食事、睡眠、排泄等の基本的な生活習慣や、健康状態の維持・改善の支援を行います。 ・室内の換気、病気の予防や安全への配慮を行った環境を設定します。 ・入浴支援では重症心身障害児、医療的ケアが必要な利用児にも対応できる特殊浴槽で、安心・安全にリラックスして入浴できる環境を作ります。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚に触れて経験を積み日常生活に必要な動作や対応力をつけます。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善関節、の拘縮や変形の予防のハビリテーションを行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚情報から行動への認知過程の発達を促し、日常生活動作や適切な行動を促します。 ・日常生活動作や意思の表出方法の獲得が図れるように、日課活動で絵カードやジェスチャー、言葉と行動が繋がるように個々に合わせた日課活動を提供します。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や指差し、身振り、小さなサイン等を用いて、表出のアセスメントを行い意思の伝達を保護者や関係機関と共有していきます。 ・表出の方法を専門職が評価することでコミュニケーションの手段を増やします。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・大人と安心できる関係性や、こどもと関わりを持ち楽しさを味わえるような、ふれあい遊びや音楽等を通して人間関係の構築を図ります。 ・個別支援から小集団での活動を行うことで、集団生活への対応力を身に付けられるように支援をします。 ・園や地域の方と交流する機会を作ることで、社会参加が出来る機会を提供します。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族からのご相談では居宅訪問での相談支援、事業所内相談支援、きょうだい支援、グループでの相談支援を実施しております。また、年に3回行う保護者会では保護者向けの勉強会やご家族同士の連携の場を提供しています。 ・未就園の利用児には保護者のレスパイトで延長支援を提供します。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・園への移行支援を関係機関全体でサポートに入ります。令和6年度に入園の実績あります。また、令和7年度には就学に向けてのご相談や、就学相談会などで情報提供を行っています。専門職が対応し、安心して移行できるように支援をします。 ・地域の園と定期的な交流会を実施しています。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 学校 園 福祉機関などと連携を図り地域の中で安心して暮らしていけるようサポートを行います。 ・行政や関係機関に呼びかけを行い、鹿児島県医療的ケア児等支援センターより講師を派遣し、年に1回医療的ケア児に関する研修会を行っています。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、内部研修は受講後の報告と職員への伝達研修を行っています。また、事業所内では基本的な知識、重心・医療的ケアに必要な知識、支援技術などを専門職員が中心となり定期的に勉強会を実施しています。 ・緊急時の対応の訓練を月に1回、全職員が参加し緊急時もチームで対応できる体制を作っています。 		
主な行事等	4月 お花見 / 5月 運動会（きょうだい支援） 防災訓練 保護者会 / 6月 親子遠足 / 7月 七夕 夏祭り（きょうだい支援） / 8月 水遊び / 9月 園との交流会 防災訓練 保護者会 / 10月 ハロウィン交流会 防犯訓練 / 11月 秋祭り（地域支援） / 12月 クリスマス会（きょうだい支援） 保護者会 / 1月初詣 正月遊び 防災訓練 / 2月 節分 / 3月 ひな祭り 卒業パーティー お花見 保護者会								